

福島の復興に向けた未来志向の環境施策推進に関する連携協力協定
に基づくフォローアップ会議 開催概要

1 日時

令和4年5月25日（水）15時30分～16時40分

2 場所

福島県庁 第1特別委員会室 ※オンライン会議も併用

3 出席者

(1) 環境省

- ・環境再生・資源循環局 室石 泰弘 局長
布田 洋史 福島再生・未来志向プロジェクト推進室長
- ・自然環境局 岡野 隆宏 国立公園利用推進室長（※）
東岡 礼治 鳥獣保護管理室長（※）
- ・福島地方環境事務所 庄子 真憲 次長
金子 元郎 渉外広報課長

※オンラインにより参加

(2) 福島県

- ・生活環境部 久保 克昌 部長
関根 昌典 政策監
濱津 ひろみ 環境共生課長
橋本 晃一 自然保護課長
小池 由浩 水・大気環境課長
佐瀬 猛史 一般廃棄物課長
- ・企画調整部 内田 基博 エネルギー課長

4 議事概要

(1) 令和3年度及び令和4年度の取組説明

福島の復興に向けた未来志向の環境施策推進に関する連携協力協定（以下、「連携協力協定」という）に基づき、次の項目について、環境省、福島県から資料に沿って説明した。

- ・令和3年度の主な取組状況
- ・令和4年度の主な取組予定
- ・今後の方向性

(2) 意見交換

【総論】

- 連携協力協定として発展して2年目となり、着実に成果が出てきており、様々な取組が相乗効果を上げている。
- これまで出来なかったことや、協定があるからこそ実現できる成果の創出に向けて連携して取り組んでいく。

【「ふくしまグリーン復興構想」等の着実な推進】

- 只見柳津県立自然公園の越後三山只見国定公園への編入について、大きな成果であった。本年度はJR只見線全線運転再開も予定されている。奥会津地域の地域振興にもつなげていくため、ふくしまグリーン復興推進協議会などを通じながら、ビジターセンター整備やコンテンツ造成などの事業を連携して進めていく。
- 帰還困難区域のイノシシ捕獲について、特定復興再生拠点区域の避難指示解除が進む中、引き続き課題であるので、しっかりと最大限の捕獲を国としても継続していく。
- 猪苗代湖について、今年度も様々な機会を捉えて連携しながら、水環境の保全に努めていく。

【復興と共に進める地球温暖化対策の推進】

- 再エネ設備・システム導入補助事業について、自治体や事業者からの問合せが多く好評をいただいている。引き続き連携しながら事業を推進していく。
- 県が5月に策定した、「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」の目標達成に向けて、効果的な取組となるよう連携して取り組んでいく。また、県内における「脱炭素先行地域」の創出に向けても連携して取り組んでいく。
- 「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」について、国では昨年度から準備を進め、今年度は設立と会合を行う。夏頃を目途に、民間企業や自治体等の様々な主体の参画の上で設立したい。

【ポスト・コロナ社会を先取りした環境施策の推進】

- ワークেশョンの推進に向けて、引き続き国と県で連携して取り組んでいく。

【本協定の効果的な実施に関する共通的事項】

- シンポジウムやチャレンジアワードなどについて、今年度も同様のイベントを県、国で予定している。福島の今を様々な機会を捉えて発信していくことは重要なので、双方で連携を図りながら引き続き取り組んでいく。